

2026年2月吉日

DCMホールディングス株式会社

DCM DIY place × 長谷戸小学校

紙資源を楽しく回収！「ヤギ型資源箱」制作をサポート

～校内の身近な環境課題の解決に貢献～

DCMホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼CEO：石黒靖規）のグループ会社であるDCM株式会社（代表取締役社長：石黒靖規）が運営する体験型店舗「DCM DIY place」は、渋谷区教育委員会が推進する「シブヤ未来科」の授業に継続して参画しています。今回は、昨年度からの協力を続けている渋谷区立長谷戸小学校にてふたたび、4年生の授業に参加し、学校内の環境課題を解決するための資源回収箱制作をサポートいたしました。

DCM株式会社は、DIYを通じて、学校や地域における資源課題解決に協力し、持続可能で暮らしやすいまちづくりに貢献します。



電動工具でビス打ちに挑戦



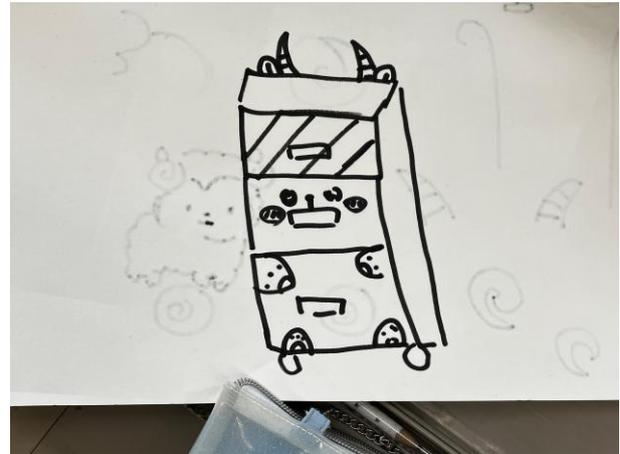
成果発表会での資源箱お披露目

■ 学校のごみ問題に挑む！ 紙ごみを資源に変える「ヤギの回収箱」

4年生の「シブヤ未来科」では、チームごとに身近な課題を設定し、その解決に向けて自ら計画を立てる探究学習が進められています。あるチームは、学校内で発生するごみの多くが「紙ごみ」であることに着目。「紙ごみはリサイクル可能な資源。ごみ箱ではなく資源回収箱があれば、みんなの意識を変えられるのではないか」という思いからプロジェクトがスタートしました。

まずは「どのくらいの大きさで、どんな形で、どのように作ればよいか」を話し合うところから始めました。校内の紙ごみの大きさや種類を実際に調べた結果や、「大きさをそろえて出さないと資源ごみにはならない」といった知識、「入れるのが楽しい仕掛けがないと使ってもらえない」「回収してくれる主事さんの使いやすさも考えないと」などの意見も交えながら、議論を重ねて大きさや形を設計図にまとめていきました。

その結果、校内の紙ごみで多いサイズとそれぞれの量を考慮した、高さの違う3段の棚を内部に設計。入れ口も3つにわけて簡単に入れられるポスト型にしました。また回収しやすいように、側面の扉は1枚にして3段に分けられた紙をすぐに取り出せるように工夫しました。さらに入れるのが楽しくなる仕掛けとして、「紙を食べるヤギ」のイメージで顔や手足を描くことに決めました。



■ 初めてのDIY体験 みんなの得意を活かし、アイデアが形に

設計図をもとに、いよいよ実際の制作に進みます。DCM DIY placeでは、児童の設計図に従って木材を加工し部材として提供。さらに技術講師として、木材の組み立てなどDIY技術を実践的にレクチャーしました。初めて手にする電動ドライバーの音に最初はびっくりしながらも、一人ずつ順番にビス打ちに挑戦していくグループのメンバーたち。「思ったより力がある…」「うまく打てた！もう1回やりたい！」と、自分たちの手でヤギの回収箱が組み上がっていく様子に、終始目を輝かせていました。

組み立てが終わるとペイント工程へ。DCM DIY placeで取り扱う水性ペンキや刷毛を使い、絵を描くのが好きな子はヤギの顔の下描きを、細かい作業が好きな子は細筆で輪郭を、刷毛を使いたい子は全面的な色塗りを、上手に役割分担しながら、2体のヤギに命を吹き込んでいきました。そして、設計段階で決めていた色にとらわれず「目はこの位置でこの色の方が可愛くなるかも！」とその場で臨機応変に話し合いを重ね、最終的に2体の個性豊かなヤギの資源箱が完成しました。



■ 校内でのお披露目 実際の使い方もデモンストレーション

完成したヤギの資源箱は、土曜授業の成果発表会にて、他チームの児童に加え保護者や地域の方も前にお披露目されました。制作チームの児童たちは、作るようになった背景や、作る時に工夫したことを発表。最後には、「（回収用の）横の扉を開けない」「紙は横向きで入れる」といった運用に向けたルールを、デモンストレーションしながら説明しました。楽しませながら教えることで、聞き手の児童たちにもすでに資源箱への親しみが生まれているようでした。この後の実際の設置では、校内での紙ごみの回収がどう変化したかを検証していきます。

渋谷区立長谷戸小学校 4学年担任 石川瑠大先生からのコメント

今回のシブヤ未来科の学習では、子どもたちが自ら課題を見つけ、解決に向けて粘り強く取り組む姿が印象的でした。特に、単に資源箱を作るだけでなく、「回収する際の効率性」や「使う人の楽しさ」まで想像を広げて設計していく過程には、大きな学びがあったと感じています。DCM DIY placeの皆様には、子どもたちのアイデアをプロの視点で具現化するためのアドバイスや、本物の工具を使った技術指導をいただきました。自分たちの考えが形になる喜びを肌で感じた経験は、子どもたちにとって大きな自信となりました。このヤギの資源箱が、校内の環境意識を変えるきっかけになることを期待しています。

DCM DIY placeは、今後もDIYを活かした資源再利用や、くらしの快適化をめざし、子どもたちが自ら考えて手を動かし課題を解決する喜びを支援してまいります。この資源箱を通じて、子どもたちが楽しみながら環境保護への意識を持ち続けてくれることを願っています。

■ DCM DIY placeとは

「DIYによるくらし快適化」のお手伝いをする店舗です。日々のくらしを快適にするツールとアイデアを取り揃え、「やってみたら自分でできた！」を応援する、ホスピタリティにあふれた体験型店舗です。

店舗名：DCM DIY place

住 所：東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンタープラザ1F

営業時間：10:00～20:00

定休日：1月1日～3日、法定点検等別途指定する日

HP: <https://www.dcm-hc.co.jp/dcm-diy-place/>

Instagram: [@dcmdiyplace_official](https://www.instagram.com/dcmdiyplace_official)

DCMホールディングス株式会社とは

全国でホームセンター事業、EC事業等を展開しております。売上高5,361億円、全国に約840店舗・約2.4万人の従業員を擁しています（2025年2月末現在）。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle くらしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカタチを実現します。

<本件に関する問合せ先>

DCM DIY place広報事務局（株式会社K&L内）担当：宮城・加藤・伊藤

TEL：080-5427-9134（加藤携帯）、03-5211-8131 E-mail: dcm-pr@klt.co.jp

